

報道関係者各位

資料提供
令和3年11月18日
課名：交通対策担当
担当者：藤井
内線：2579
直通電話：082-513-2579

～県立広島大学生による取り組み～ 産・学・官連携！ 6次産業を MaaS で広島空港へ！

県立広島大学、広島県、備北交通株式会社、及び広島国際空港株式会社（HIAP）は、広島県の「広域 MaaS 推進事業※」で運行する庄原空港線のバスに、県立広島大学の学生が人工光植物工場※で研究栽培した農産物を貨客混載※輸送し広島空港で販売することとなりましたのでお知らせします。今後も、産・学・官で連携し地域や利用者の皆様の利便性向上に向けて取り組んでまいります。

※広域 MaaS 推進事業とは…広島県による 10/16～12/12 土日祝期間限定、広島県域のバス・電車・船・ロープウェイが乗り放題のデジタル周遊乗車券、及び空港アクセスバス新路線（みなと空港線・庄原空港線）の実証事業。

※人工光植物工場とは…屋内における人工光・栄養豊富な培養液・一定の空調温度により植物を栽培。県立広島大学の庄原キャンパスに 2021 年 4 月オープンし、将来的には 6 次産業は、生産（1 次産業）だけでなく、食品加工（2 次産業）、流通・販売（3 次産業）に総合的に関わり、農業の 6 次産業化を目指す。

※貨客混載とは…路線バスにて貨物輸送する等、貨物と旅客を同一の交通モードで輸送すること。

1. 経緯・目的

この度は、HIAP より予約制デマンドバス（庄原⇄空港線）の利用促進を図るべく、沿線にある県立広島大学に働きかけたところ、学生より人工光工場の農産物をデマンドバスで貨客混載し、広島空港で販売（解説付き）したいとの申し出があり、産・学・官連携が実現しました。

今後は、産・学・官連携を強化し、大学の研究内容の発信、広島空港の利用促進・新規アクセスバス路線の拡充を図ります。

2. 実施内容

○日時

2021 年 11 月 23 日（火・祝）＜輸送＞6:55～7:10 県立広島大学発～8:15 広島空港着

＜販売＞9:00～12:30（売り切れ次第終了）



○輸送・販売品

ベビーリーフ・サラダ菜

(県立広島大学庄原キャンパス内の人工光植物工場にて研究栽培された農産品)

(学生による研究製品の解説付きで販売)

<商品のイメージ>

サラダ菜



ベビーリーフ



○輸送方法

予約制デマンドバス（庄原⇄空港線）にて貨客混載

県立広島大学 6:55～7:10 発→広島空港 8:15 着

(広島県による広域 MaaS 推進事業により実証運行中)

○販売場所

広島空港 2 階 エントランス



【取材に関するお問合せ先】 広島国際空港株式会社 広報担当 TEL：0848-60-8108

【内容に関するお問合せ先】 広島国際空港株式会社 利用促進部 TEL：0848-86-8163